

昭和二十八年年度の文部省建築モデル

スクール候補校の申請について

— 文部省 —

文部省管理局長から、昭和二十八年三月二十四日文部指第六八号で昭和二十八年年度におけるモデルスクール候補校の申請要領が発表され各都道府県教育長あて通達された。その指定方針は次のとおりである。

1 目的

教育目的を有効に達成しうる見本的な学校建築を作り、これを学校建築の実際の研究調査の対象とするとともに学校建築の考え方の参与とし、もつて学校建築の向上に資することを目的とする。

2 対象

原則として、これから新設するものを対象とするが、現在までにすでに完成したもの、あるいは一部二事中的ものについても、所定の条件をみたすものは、対象とする。

3 地域的分布の考慮

全国に平均して分布するようにしたいのですでに指定されている学校の分布状況をじゆうぶん考慮して、つとめて一地域に集中することを避ける。

4 指定の要領

5によつて申請されたものうちから、左記に掲

げる要領によつて選り「昭和二十八年年度文部省建築モデルスクール候補校」として指定する。

この建築の実施については、文部省で技術的な指導と助言をする。

この建築が完成した後、実地調査の上「昭和二十八年年度文部省建築モデルスクール」と指定する。

(1) 学校種別（公立のものに限る）

- 小学校
- 中学校
- 盲学校
- ろう学校
- 高等学校（定時制のものを除く）
- 幼稚園
- 養護学校
- 定時制高等学校

全国指定予定校数（三〜五校）

〃 〃 （一〜二校）

〃 〃 （二〜三校）

(2) 建築モデルスクール候補校指定の条件

- (イ) 学校施設の研究、調査の対象となるもの。
- (ロ) 校地が良い位置、環境にあり、学校規模に適した広さを持つもの。
- (ハ) 学校施設がその地域にふさわしい、すぐれた設計計画を持つもの。
- (ニ) 財源的にじゆうぶんな完遂能力のあるもの。
- (ホ) 設計、工事管理について責任のある技術者のいるもの。
- (ヘ) 完成年度

木造……………二ヶ年以内

鉄筋コンクリート造、練瓦造……………三ヶ年以内

(3) 国庫補助等の取扱

これらの建築に伴う国庫補助ならびに地方起債については在来通り特別な取扱いはしない。

5 申請の方法

(1) 学校設置者は、下図様式の申請書二通および学校の環境案内図敷地図、建物配置計画図各一通を都道府県教育委員会に提出する。

(2) 都道府県教育委員会は、その中から適当なものを選んで、当該学校の環境案内図、敷地図、建物配置計画図に推薦書を添えて四月三十日までに文部省教育施設部へ提出する。

なお、都道府県教育委員会は、四月十日までに、申請予定の学校名とその学級数を文部省教育施設部へ報告すること。

6 既指定のもの取扱

いままでに指定されている建築モデルスクール候補校および建築については、別に指定する期日までに完成すること。

また、完成した建築モデルスクール候補校又はモデル建築の設置者は落成調書（別に定める様式）を都道府県教育委員会を経由して、文部省教育施設部に提出の事。

この手続を終った学校について実地調査の上「昭和〇〇年度文部省建築モデルスクール」として指定する。

『幼児の教育』九月號

についてのお知らせ

『幼児の教育』九月號は、例年の通り日本保育学会大会の特集号といたし、大会の研究発表及び、その大会記録を掲載いたす予定です。

したがつて、九月号に限り、一般記事を休載し、それに代つて、研究発表及び、記録を載せることによつて、諸先生方の御役に立てば、……と思ひ、その方針に立つて、編集いたすつもりでございます。

このため、毎月の定頁（普通月定頁は五二頁）よりも相当に頁数も増え、定価も又、臨時定価をつけさせて戴くことになると思ひますが、このことを、予めお知らせし、愛読者諸氏の御諒承と、御協力を賜わりたく御願ひ申し上げます。

敬 具

昭和二十八年八月

日本幼稚園協会

昭和28年度建築モデルスクール申請書

文部省管理局長殿

防火地域 準防火地域 指定なし
鉄筋コンクリート造 木造 煉瓦その他

学校名 () 都道府県 () 市町村 () 町村 () 学校校長 ()

設置者 () 市町又は組合 市町村長又は組合長 () 教員 () 印刷

学校の状況 児童生徒の現在数 学区の全人口 比率 % 最大通学距離 キロメートル 主眼とする課程 児童生徒の現在数 学区の全人口 比率 % 最大通学距離 キロメートル 普通・農業・商業・工業・水産・家庭

完成計画 学年級数 児童生徒の数 校舎延面積 坪 講堂・屋内体操場を除いた校舎の延面積 坪 一人当り面積 坪 完成年月日

27年度末の保有見込 校舎保有延面積 坪 左のうち国庫補助対象の分 坪 単独起債の分 坪 目 己 資金の分 坪

学級数 児童生徒の人数 校舎延面積 坪 講堂・屋内体操場を除いた校舎の延面積 坪 一人当り面積 坪 設計者 工事管理者

28年度の実施予定画 支出 建築費 千円 敷地費 千円 付帯工事費 千円 設備費 千円 事務費 千円 計 千円

収入 一般歳入 千円 国庫補助 千円 起債 千円 附金 千円 その他 千円 計 千円

敷地面積 坪 所在地 決定した面積 坪 更に拡張予定のもの 坪 運動場予定 坪 敷地周囲の道路のはば

東側 西側 南側 北側 東側 西側 南側 北側

注意 1. 塗欄になつてゐるところにそれぞれ記入する。2. 同條事項が別記してあるものを○でかこむ。3. 数字はアラビア数字を使用する。4. 面積は坪単位で以下四捨五入。5. 金額は千円以下四捨五入。6. 環境案内図、敷地図、建物配置計画図添付。